

”カナカナは鳴かずなりにし昨日より
野に立つ風の澄みて秋づく” 八杉 龍一
虫の声に夏を振り返る今日この頃ですが、会員の皆様は如何お
過ごしでしょうか。秋は「読書の秋」「体育の秋」など、何をし
ても良い季節です。クモを見るのにも良いでしょう。さあ、外に
出てみましょう。

<新入会員の方です>

☆磯部達男……◎259-12 神奈川県平塚市中原1-6-35
☎0463(32)6830

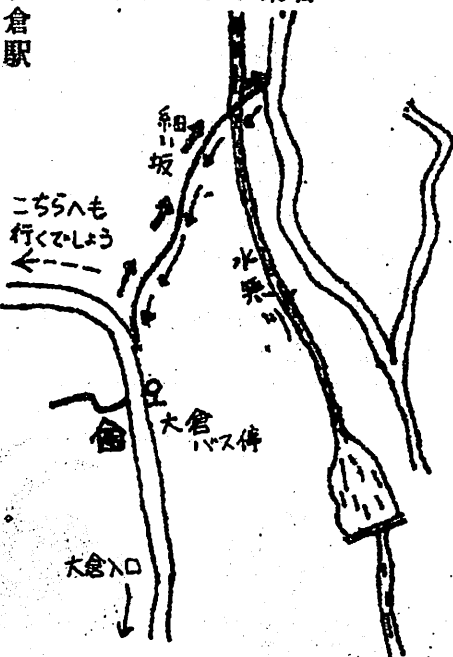
『お知らせ』

<<採集会について>>

日時……10月18日(日)、AM10:00集合
場所……神奈川県 丹沢・大倉
集合場所……小田急線 洪沢駅

<採集会のコース>

- 午前中は→のコースにて採集します
- 午後は→のコースで帰ります
- 上記の通り洪沢10:00集合ですが、大倉までのバスが少ないのでご注意下さい。
- 遅れた方は、バスの本数が多い「秦野駅」行きのバスで「大倉入口」下車、徒歩30分で大倉へ来て下さい。



<<合同例会について>>

日時……11月15日(日)、AM10:00~
場所……大橋区民会館 ☎03(469)1321

※詳しくは、最後のページを御覧下さい。

<< 1987. 6. 14 総会決定事項 >>

1. 投稿原稿は8ページを越えた物には、超過料金を取る。
→現行6ページ
2. 写真・原図は、原寸を原則とし、拡大・縮小は実費とする。
→現行通り

<< 総会に参加して >>

本木 洋子

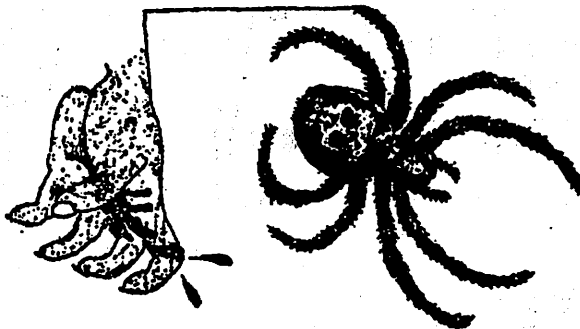
6月14日、大橋区民会館に 萱嶋泉先生をはじめ18名の会員が集い例会・総会が開催されました。冒頭、談話会会員が遂に120名を越えたという事務局からの報告に続き、午前中、3氏の講演がありました。谷川明男氏の「Agelena属1未知種について」は、慣れれば色合いや模様で識別できるという、コクサグモ類似のspに関する見逃せない発表でした。観察地・伊豆沼・横浜では普通で、個体数も少なくなかったということです。今後報告例が増えると思われ。クモが棲み分ければ、かかわる昆虫相も異なってくる、中には餌を選食するクモも現れる。「ムナボシヒメグモの餌捕獲行動について」は、新海明氏の細かな野外観察に基づいた刺激的魅力溢れる講演でした。池田博明氏の「クモの旧名について」は、分類、同定に際して生じる誤認の検討という、方法論上の興味深い新しい試みでした。スジトハシリグモの幼体が、あっさりとしてギョウジャグモの幼体に化けるといふ怪談、「高校生の同定記録」などは、恥かしながら非常に参考になりました。

午後からの総会では、会計報告の承認の後、キシダイアの投稿について真摯な討論が交わされました。投稿者の負担軽減の方向で投稿規定が一部改正され、日程を終了しました。

この日は、ペーパー会員に等い者として、会員の方々の「クモ」及び「談話会」に寄せられる熱意の深さに、つくづく感銘を受けた一日でありました。会計、編集、事務など日頃運営に御骨折り頂いております皆様、改めてお礼申し上げます。

閉会の折、萱嶋先生より以下のような趣旨の温かい励ましのお言葉がありました。

「談話会の裾野を広げましょう。そして、クモ学の発展に励もうではありませんか。」



◀「悪魔の呪法」

(二見書房)より

ま、一般の人の向のクモのイメージといふのは……

<<合宿の報告>>

板倉 余弘

7月25日～27日、神奈川県丹沢・大倉にて合宿を行いました。前の5月17日の採集会が雨にたたられたにもかかわらず、7種も採集されたので今回は…というところです。

第1日目は、合宿所「どんぐり山荘」の前の道を洪沢と反対に進み、右側の水無川に下りる道を採集しました。向かって左側は崖になってお落ちムラクモヒシガタグモやツリガネヒメグモなどが見られました。落ち葉の上には、アメイトハエトリがいました。ちょうど夏休みに入ってきた土曜日にあって、登山者やキャンパーの方がたくさんいらして、物珍しそうで、私たち手元を覗いて行きます。ボーイスカウトの少年も来ていて、「おじちゃんたち、そんなことして楽しいの？」なんて聞いた素直な少年には力が抜けました。

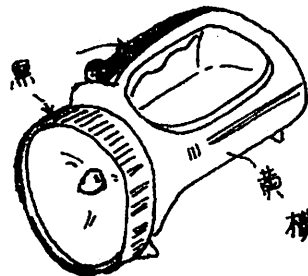
夜間はまた同じ路程を行きましたが、崖に生えている木の幹でコアシダカグモがセミを食っているのが観察されました。また、驚いたことにサカグチトリノフンダマシが見つかりました。

第2日目は、前日とは逆にどんぐり山荘の前の道を洪沢側に少し戻り、右側に出る道を行ってススキなどの有る開けた所に出ると、コガネグモやシロオビトリノフンダマシなどがいました。一昔前までは、コガネグモが主食する所に見られたそうですが、今回はこれ一頭だけだったようです。昼食を宿に帰って食べた後、昼からは前の道を洪沢と反対の方向へ向かい、左折して県民の森の辺りを通って戻る路程でした。夜間もやはり、後のと同じ場所で観察を行ない、イオウイロハシリグモが卵嚢を持っているのに出会いました。

第3日目は、水無川に沿って、特に河原で採集しました。第1日目の所から少し先に行った辺りにゲホウグモの卵嚢がありました。木の葉裏に着けられた白い乳房型で径が3cm程の物で、上部には美しい朱色の糸が掛けられていました。河原のススキ野原には、オオトリノフンダマシやカバキコマチグモの産室が見られました。そして、昼食をとってから解散しました。

何やかにやら言いつつも、神のお仕組みかどうか分かりませんが、第1日目にバラバラしただけで雨にもならず、クモもサカグチトリノフンダマシを始めたくさん取れ、事故もなくでき、たいへん恵まれた3日間であったと思います。真に有り難うございました。

<合宿の忘れもの>

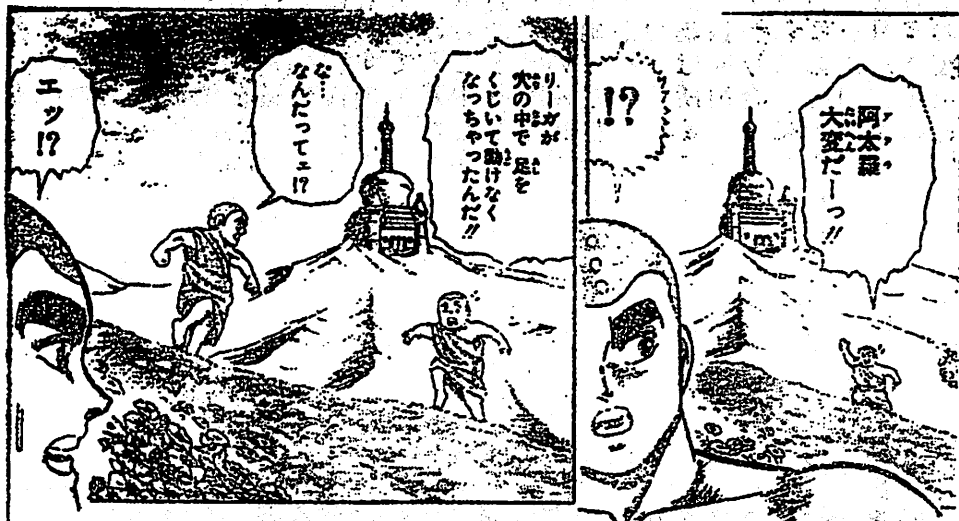


ミニポン V. Light CL1400
単14本 防水型

お忘れの方御連絡を。

横浜市神奈川区片倉町199
熊田 憲一がおります。
ていす。

▼ 少年ツャンプ 35巻 <God-Sider> (巻来功士)より





無言のうちに
おのずから
おのずから
おのずから



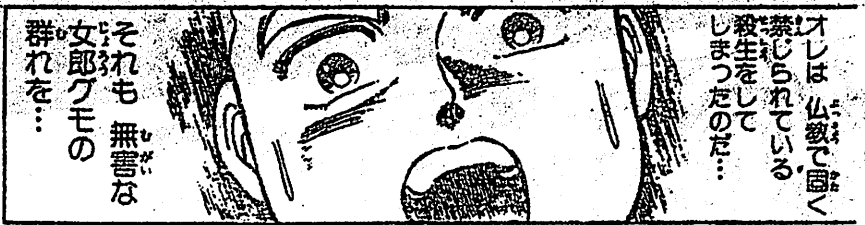
おのずから
おのずから
おのずから



おのずから
おのずから
おのずから

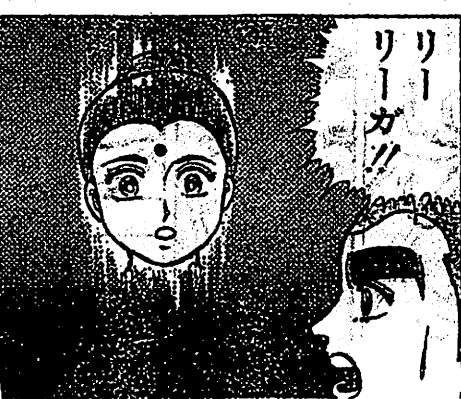


おのずから
おのずから
おのずから



それ無言な
女郎グモの
群れを...

おのずから
おのずから
おのずから



リーガッ
リーガッ



おのずから
おのずから
おのずから



あなたが
犯した罪の
おかげでわたしは
こんな姿にされて
しまったわ...

ウワアアア
ツアア



美人蜘蛛に
食われれば
いいのさ!!



おとなしく...この...



お...おねがい...
わたしを助けたいなら
いうことに従って...



な...なにを
やれば...?

<< 会費納入状況 >>

1987. 9. 25 現在 (敬称略)

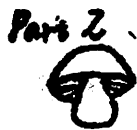
- 61年度 堀越雅弘、馬場武彦、古浜 隆、大河内哲二
- 62年度 内田善、福山研二、堀越雅弘、古内栄一、菊屋奈良義、
村田慎一、貝発研治、磯部達男、福本伸男、小池牧子、
馬場武彦、斎藤慎一郎、本木洋子、佐藤幸子、瀬戸康彦、
古浜 隆、山川 守、吉倉 真
- 63年度 堀越雅弘、菊屋奈良義、熊田憲一、熊田理恵、荻嶋 泉、
池田博明、古浜 隆
- 64年度 原 勝可



◀ 7月27日
朝日新聞
より

情報網でからめ取る

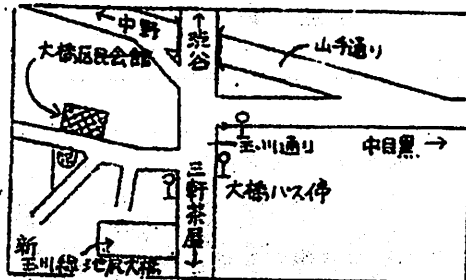
山田 紳



Part 2. 合同例会のお知らせ

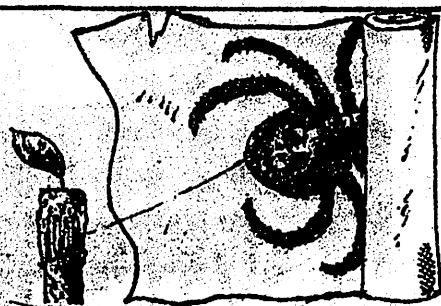
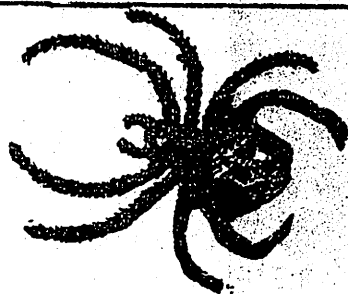
日時: 11月15日(日) AM 10:00 ~
 場所: 大橋区民会館 (8日から15日に変更されました)
 参加費: 500円

今年も合同例会を開催します。当日は講演発表とお互いの親睦を深めていただく為の簡単な懇親会を予定しております。ただ今講演を募集しております。99の方々の御参加をお待ちしております。



出欠のお返事は
 人がキにて 10月20日 まで
 ※欠席される方も必ず、
 御送り下さい。

くわしくは事務局まで



<事務局より>

※ <KISHIDAIA>・<つうしん>の原稿を募集中です。
 ※会費の納入はお早めに。口座番号 横浜0-1460

臨時事務局/KISHIDAIA編集>>

熊田憲一……☎221 横浜市神奈川区片倉町199
 ☎045(413)3375

※米年の春の総会まで、熊田氏が事務局を担当されます。
 つうしん編集>>

板倉泰弘……☎156 世田谷区桜丘3-11-1 山田様方
 ☎03(429)2786(呼)

<談話会つうしん>> No. 60

昭和62年10月5日 東京クモ談話会